

あすなる会

もくじ

学級経営

- 学級経営計画
- 学級目標と具体的な取り組み
- 気になる生徒Kくん
- クラマネの分析

授業

- 多面的・多角的に社会的事象をとらえる

夏休み関係

- 夏休み中の取り組み
- 夏休み明けの取り組み

学級経営計画

第1年

最高経営理念：一志 かがやくー 唯一無二 心を一つに 未来を創る

学校教育目標：志を高く、多様な学びを通して、持続可能な社会の担い手を育成する

目指す生徒像

- ①常に Why を意識し、主体的に粘り強く学びに向かう力ある生徒
- ②共生の心や他者との協働を大切に、豊かな感性、想像力を持ち自己表現力ある生徒
- ③地域を愛し、自分の夢に向かい挑戦する生徒
- ④礼節を重んじるとともに、正しい言動と判断ができる生徒

学級経営方針

担任としての願い：①安心・安全に過ごせる、②個々の個性を生かしながら、集団として互いのことを考え行動できる、③誰一人として排除しない包み込むクラス

学級の約束

自分がされて嫌なことは人にしない言わない

① 目指す児童生徒の姿：

- ◎自分を大切に、相手を大切にできる。 自分と相手のどちらも幸せになれることを理由に行動できる人
- ◎自ら進んで行動し、粘り強く取り組める。 見通しを持ち、実行し、振り返り、次に進んでいける人
- ◎前向きに学ぶことに取り組める。 物事に対して疑問を持ち、自ら問いをつくり学んでいける人

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月中旬まで	10月中旬～11月	12月	1・2月	3月
② 主 な 行 事	入学式 ジョイプロ 部活動入部 家庭訪問 春季大会 前期組織づくり	春季大会 第1回定期テ スト 日曜参観 生徒総会	教育相談 第2回定期テ スト	三者懇談① 終業式 夏季休業	夏季休業 始業式 第3回定期テ スト	文化の部 合唱コンクール 確プロ①	体育の部 第4回定期テスト 科学センター学習 後期組織づくり	収穫祭 三者懇談② 終業式	始業式 確プロ②	3年生を送る会 卒業式 修了式 離任式
③ 学 級 集 団 の ま ま と ま り の 手 立 て	○担任としてどのようなクラスに したいか語る 〈ねらい〉 担任の学級経営のビジョンを生徒 と共有し、一年間の見通しを持つ。 ○担任・生徒の意見をもとに学級 目標を決める。 〈ねらい〉 担任・生徒で学級をつくる意識を 高める。学校教育目標につなげる。 ○リレーションづくり（自己紹介 やレクリエーションなど） 〈ねらい〉 学級のリレーションづくりのため に、SGEなどを行う。自分の気 持ちを出せる雰囲気をつくる。 ○学級ルールづくり 〈ねらい〉 生徒で過ごしやすい学級となるよ うに、最低限のルールを作るこ とを通して、集団の意識を高める。 ○当たり前を褒め、認め、励ます 〈ねらい〉 当たり前でできていることを褒 め、当たりの基準を共有する。	○掃除やベル着など徹底する 〈ねらい〉 少しずつ慣れがは始めるので、それぞ れの活動の意義を語る。担任ではな く、生徒同士で注意し合えるように声 掛けをする ○1学期の振り返りを行う 〈ねらい〉 学級目標に向けてどれだけ学級が進 めたかを共有し、今後の課題を考え る。また、ルールの改廃をする。 ○休業中の生活について話す 〈ねらい〉 生徒自身が事故や怪我などに十分に 注意し、生活できるように指導する。 ○特別活動、道徳などの充実 〈ねらい〉 特別活動、道徳の授業などの授業を通 して、班の中で個々の思いを出せるよ うにする。『ペア、4人班、生活班』 ○集団をつなぐ 〈ねらい〉 小さな集団をつないで、大きな集団に していく。仲間からクラスにしてい く。	○学級目標について学級の現在の状況 を生徒が評価する 〈ねらい〉 1学期の振り返りをもとにして、学級 目標に向けた取り組みや課題を確認し て、2学期をスタートする。 ○生徒主導の取り組みを増やす 〈ねらい〉 生徒の自治的活動の場を意識的につく り、集団への帰属意識や一体感を高め る。学校祭などの行事を活用する。 ○学校祭の目的を話す 〈ねらい〉 体育祭・文化祭・合唱コンクールという 行事を通して、学級の一体感を高める。 特に、目標に向かって協力する大切さ について話す。 ○合唱リーダー中心の合唱練習 〈ねらい〉 子どもを中心に、合唱コンクールに向 けて、練習を重ねる。 ○指示を減らしていく 〈ねらい〉 見通しのある指示によって、指示を減 らして自律して動けるようにする。	○2学期の振り返りを行う 〈ねらい〉 学級目標に向けてどれだけ学級が進めた かを共有し、今後の課題を考える。また、 ルールの改廃をする。 ○休業中の生活について話す 〈ねらい〉 生徒自身が事故や怪我などの十分注意し、 生活するように促す。 ○学級の状態の確認 〈ねらい〉 学校行事後の学級の状態を精察し、必要で あれば、全体に声かけをして、年度当初の ルールを確認する。 ○トラブルに丁寧に対応する 〈ねらい〉 行事などで子どもたちの意見がぶつかる ことが考えられるので、本当に伝えたいこ とを引き出して、当事者同士でトラブルを 解決できるようにする。	○1年間の振り返りを行う 〈ねらい〉 1年を振り返り、どのように成長でき たか確認し、成長の実感を味わう。生 徒同士の成長を認め合えるようにす る。 ○進級への心構えを高める 〈ねらい〉 1年の振り返りを踏まえて、今後への 展望を持てるようにする。 ○級友へメッセージを書く 〈ねらい〉 級友を大切に、感謝の気持ちを表現 する。 ○2年後の姿について考える 〈ねらい〉 卒業を2年後に控えて、なりたい自分 をもう一度考える。どんな姿で卒業し てほしいか語る。 ○3年生を送る会の目的を話す 〈ねらい〉 送る会を通して、先輩への感謝の気持 ちを伝えるとともに、学年で協力して 他者のために頑張ることの重要性を感 じる。					

④ 行事 に向け て	<p>○前期組織づくり 〈ねらい〉 学級で一人一役を決めて、みんな で学級をつくる意識を高めるとと もに役割を作る。</p> <p>○ジョイプロ、第1回定期テスト 〈ねらい〉 学習への取り組みを見とる。テスト を大切に作る風土を作る。</p> <p>○春季大会 〈ねらい〉 先輩の姿を見て、自分たちの活動 を頑張る気持ちを育てる。</p> <p>○入学式 〈ねらい〉 中学1年生としての意識をつく る。</p>	<p>○夏季大会 〈ねらい〉 部活動でこれまでの努力を出し切れ るように取組ませる。先輩の姿を応援 する大切さを学ぶ。</p> <p>○第2回定期テスト 〈ねらい〉 学習計画を達成できたか、自己評価さ せ、計画を見直す力をつける。</p> <p>○三者懇談① 〈ねらい〉 個々の学習への取り組みについて、ク ラスでの様子について知ってもらう 機会にする。</p> <p>○教育相談 〈ねらい〉 基本的には、生徒の思いを聞く時間 にする。また、個々の目標や1学期での 成長などを確認する。</p>	<p>○文化祭 〈ねらい〉 個々の力を出しながら、一つの目的を 達成する充実感を味わわせる。</p> <p>○合唱コンクール 〈ねらい〉 得意・不得意ではなく、それぞれが出せ る力を出し、一つのハーモニーを生み 出す。</p> <p>○確プロ 〈ねらい〉 自分のこれまでの学習の力を発揮する 機会にする。また、結果から何が自分 に足りていて足りていないのかを考 える機会にする。</p> <p>○第3回定期テスト 〈ねらい〉 学習計画を達成できたか、自己評価さ せ、計画を見直す力をつける。</p>	<p>○大掃除 〈ねらい〉 日常生活の身の回りの整理・整頓が できるようにつなげる。公共心を養 う。</p> <p>○後期組織づくり 〈ねらい〉 学級にどのように貢献していくかとい う意識をより強くする。</p> <p>○三者懇談② 〈ねらい〉 三者懇談①のねらいとともに、進路 についても考える機会にする。</p> <p>○第4回定期テスト 〈ねらい〉 学習計画を達成できたか、自己評価 させ、計画を見直す力をつける。</p> <p>○収穫祭 〈ねらい〉 農作物への感謝の気持ちを培う。</p>	<p>○三年生を送る会、卒業式 〈ねらい〉 他学年への感謝の気持ちを持つと ともに、進学するという気持ちを持 てるようにする。</p> <p>○学級解散 〈ねらい〉 教師が学級や個々の成長を語り、 進級への気持ちを高める。</p> <p>○第5回定期テスト 〈ねらい〉 これまでのテストに向けた学習の 力を発揮できるようにする。</p> <p>○確プロ 〈ねらい〉 自分のこれまでの学習の力を発揮 する機会にする。また、結果から 何が自分に足りていて足りてい ないのかを考 える機会にする。</p>
⑤ 家庭 との 連 携	<p>○家庭訪問（一斉）を行い、生活 実態や保護者の持つ願いを把握 する。</p> <p>〈ねらい〉 担任と保護者が協力し、子どもを 育てていくパートナーとなるき っかけにする。同じ方向に進む。</p>	<p>○家庭で困っていることはないかな どを聞く。</p> <p>〈ねらい〉 保護者の悩みを聴き、信頼関係を作 っていく。学校での様子を伝える。</p>	<p>○家庭訪問（一斉）を行い、夏休み での状況や保護者の願いを把握 する。</p> <p>〈ねらい〉 保護者がどのように子どもの成長を みとっているか知る。夏休みに 大きな変化がなかったか確認 する。</p>	<p>○三者懇談を通して、3学期に 向けた共有を行う。</p> <p>〈ねらい〉 子どもの成長を三者で確認する とともに、進路について考 える機会にする。</p>	<p>○個別の家庭訪問や家庭連絡 〈ねらい〉 三者懇談がいない分、保護者の 困りや悩みがないかを聞く。</p>
⑥ 理 論	1、混沌繁長期	2、小集団成立期	3、中集団成立期	4、全体集団成立期	5、自治的集団期

理論背景

・中学生（12歳～15歳）はエリクソンの青年期に該当する。中学1年生段階から学級の仲間意識を高めるとともに、アイデンティティを確立するために振り返りの機会を多く設けた。学級で仲間と認め合い、尊重し合いながら成長していく。振り返りは自己で行い、そこに担任のコメントも加える。

・担任がその時期に適切な支援をすることで、生徒個人だけでは到達できない次の段階へ進むことができる。また担任だけでなく、級友の力も借りて成長していく。ヴィゴツキ一の発達の最近接領域

・青年期はホリングワースの言う、心理的離乳が起こる。保護者は今までと違う子どもの姿に戸惑う部分が多い。家庭との連携で、保護者にこの理論を伝えることで、見守る大切さを伝える。（手にとるように発達心理学がわかる本、小野寺敦子）

・混沌緊張期・・・新しい集団生活が始まり、学級内のルールが無秩序な状態。小集団成立期・・・ルールとリレーションがある程度機能し、学級内に3～4人の小グループが生まれ、小さな集団で活動が行われる。中集団成立期・・・ルールを守ることによって心地よい生活が送れ、学級に安定感が生まれる。全体集団成立期・・・ルールが内在化し、自ら進んでルールを守ることができる。自治的集団期・・・生徒同士で質の高い生活が送れる状態。（5段階の成長過程にもとづいた中学校担任のための学級集団づくり12カ月）

・生徒指導 「自己指導能力の育成」 その時、その場で、どのような行動が適切か自分で考え、決めて、実行する能力

自己指導能力を育成する上での生徒指導の三機能

自己決定の場を与える・・・児童生徒に、決められたことを決められた通りにすることではなく、自分や自分たちで考えて決めて実行する場を与えること。決定の根拠は「自分」も「みんな」も喜ぶであり、両者を中心にすえて行動することが求められます。

自己存在感を与える・・・自己存在感とは、自尊感情のことで、自分は価値のある存在であるという実感である。児童生徒の個別性、独自性を大切にする。

共感的人間関係を育成する・・・共感的人間関係とは、お互いに人間として無条件に尊重し合う態度で、ありのままに自分を語り、理解し合う人間関係である。

・スクールカウンセリング・・・原因を追及し病気を治療する治療モデルではなく、問題を抱えている児童生徒と関り、児童生徒の問題解決する力を引き出すことを援助する教育モデルによる活動である。

・自己決定を促す言葉かけ①どうしたの？「何か困ったことはあるの？」②君はどうしたいの？「これからどうしようと考えているの？」③何を支援してほしいの？「先生に何か支援できることはある？」

・心理的安全性・・・組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態のこと 「失敗をしていい状態と否定されない環境」

言葉を自分に落とし込む

志・・・自分が心に決めた目的や目標や方向に向けて、実現するために心を真っすぐに持ち、相手を慕う気持ちを大切にしながら進む
唯一無二・・・ただ1つだけあって2つとない・こと→それぞれの個性を尊重し、社会の中で自分らしさを発揮できる（自由の相互承認）

創る・・・ゼロから生み出す、編み出す、発明する→変化の激しい社会の中で、他者と協働して新たな価値を生み出せる

作る→無形・有形のものをつくること（定義を作る、野菜を作る） 造る→大きいものをつくる（空母を造る、貨幣を造る）

主体的・・・「自分の意志などに基づいて行動するさま」他人の意志などによらず、みずからの意志・判断によって行動を起こすさま。やる事が決まらずに独創性が高い

自主的→「他人の干渉を受けずに自分から行動するさま」誰かから指図を受けたりすることなく、自分の意志によって積極的に行動すること。

自発的→「ものごとを自ら進んで行うさま」他人の命令などによるのではなく、自分の意志で進んで行動すること。

共生・・・誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合い生きていけること

協働・・・同じ目的のために、対等の立場で多様な相手と協力して共に働くこと

学級目標

どんなときでもHAPPYに輝け！

絆を深める1-1！

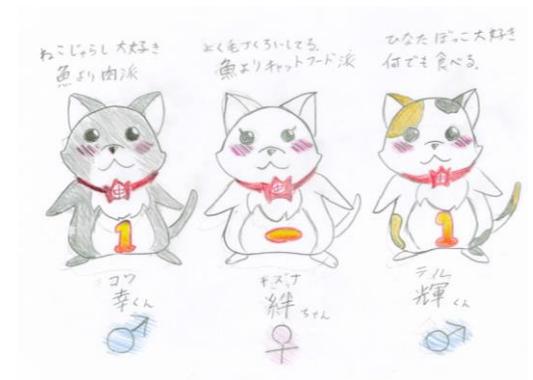
具体的な取り組みや姿

- 自ら人が喜ぶストロークを送る(肯定的ストローク)
- けんかしない
- 一人一人が活躍する(学級活動や委員会活動など)
- 一人一人の個性を認める(違いを大切に)
- 遊びと授業のメリハリ(授業は集中して聞く・話す)
- 一人一人笑い合えるクラスにするため協力をする

具体的な取り組み

- 週2回の学級通信(担任の思いや考え + クラスの様子)
- 朝と終わり会の子ども司会
- ストローク
- 提出物チェックシート
- 聞く姿勢などの価値づけ
- 失敗の価値づけ(自己紹介、ナイストライ！！)
- 学級掲示物(生徒デザイン)
- クラスのキャラクター作成(絵がうまい子の活躍の場)

原版



デフォルメ版



気になる生徒Kくん① 4月の見取り

- Kくんについて

小学校時は毎日遅刻して登校

(登校前にはセブンイレブンでゆっくりしていることも)

キックボクシングを習っている

中学校に入って頑張ろうとしているが落ち着かない

わかっているけどやりきれないところがある

勝ち負けに敏感

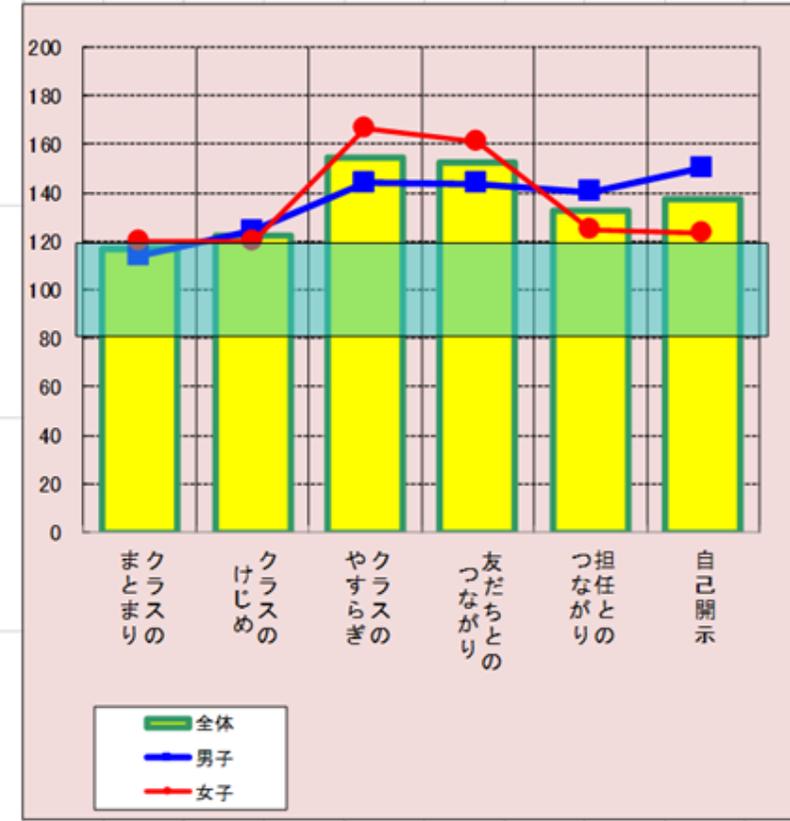
気になる生徒Kくん② 7月までの様子

- 大きくトラブルは減る。しかし、トラブルの原因を作っている自覚が薄い。
- 周りに追い付こうとする姿が出てくる。「提出物俺出来てるやんな？」
「俺ちゃんとやることやったで」
- 成績を見てさすがに頑張らないといけないという気持ちに。
- 怖い存在ではなく、周りに溶け込めている
- 自分がしたことについて素直に認める
- 教師と本人の関係は一定築けている→学年の先生へ
- 一目を置く生徒の言うことをしっかり聞く
- 勉強のわからなさを隣の人に聞く 優しくかかわる女子の存在
- 小学校でお世話になった先生の誕生日に花を持っていく

5月

領域	スコア	スコア		コメント
		男子	女子	
1 クラスのまとめ	116.69	113.89	119.66	子どもたちは、おおむねクラスに一体感を感じながら毎日を送っているようです。しかし、スコアが100を下回っている場合には、経過を観察する必要があります。
2 クラスのけじめ	122.15	124.20	119.99	遅刻や忘れ物、そうじをサボるなどの行為が少なく、学級内に整然とした雰囲気があるようです。子どもたちは落ち着いて活動することができています。さらに安定させるためには、けじめが教師主導であるか自治的なものであるかを見極めることが大切です。
3 クラスのやすらぎ	154.72	143.94	166.15	男女の仲も良く、和気あいあいとした学級の雰囲気があり、いじめのリスクは低いと考えられます。
4 友だちとのつながり	152.02	143.57	160.96	クラス内で孤立する子どもがほとんどなく、お互いにサポートし合える友人関係が形成されていると考えられます。友だちからの批判などをおそれず積極的に活動する雰囲気があるとと言えるでしょう。
5 担任とのつながり	132.71	140.09	124.89	日常的に規範や指示が明確で、公正・公平な対応が行われていると思われます。子どもたちも先生のことを適切な評価者だと感じていると考えられます。しかし、子どもたちとの距離が近すぎて指導すべきことができていないということも考慮しておく必要があります。
6 自己開示	137.16	150.28	123.26	安心して自分の考えを表明することができる開放的な雰囲気であると考えられます。

学級	1年1組
アンケート実施日	R4.5.25



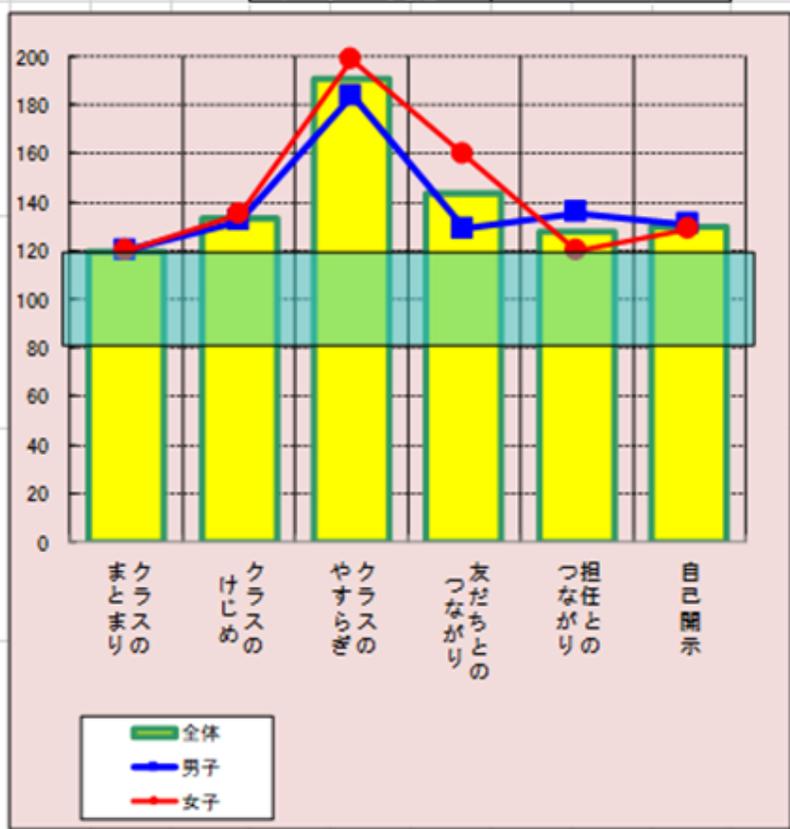
コメント
クラスの雰囲気は子どもたちにとってとても居心地のよいものとなっているようです。個々に課題を抱えた子どもがいる可能性はありますので、「わたしの毎日 アンケート ～生活適応感～」を活用し、個別に子どもへのアプローチを検討しましょう。

メモ

7月

領域	スコア	スコア		コメント
		男子	女子	
1 クラスのまとめ	119.82	119.97	119.66	子どもたちは、おおむねクラスに一体感を感じながら毎日を送っているようです。しかし、スコアが100を下回っている場合には、経過を観察する必要があります。
2 クラスのけじめ	133.47	132.01	135.01	遅刻や忘れ物、そうじをサボるなどの行為が少なく、学級内に整然とした雰囲気があるようです。子どもたちは落ち着いて活動することができています。さらに安定させるためには、けじめが教師主導であるか自治的なものであるかを見極めることが大切です。
3 クラスのやすらぎ	190.91	183.80	198.43	男女の仲も良く、和気あいあいとした学級の雰囲気があり、いじめのリスクは低いと考えられます。
4 友だちとのつながり	143.78	129.00	159.42	クラス内で孤立する子どもがほとんどなく、お互いにサポートし合える友人関係が形成されていると考えられます。友だちからの批判などをおそれず積極的に活動する雰囲気があると良いでしょう。
5 担任とのつながり	127.92	135.44	119.96	日常的に規範や指示が明確で、公正・公平な対応が行われていると思われます。子どもたちも先生のことを適切な評価者だと感じていると考えられます。しかし、子どもたちとの距離が近すぎて指導すべきことができていないということも考慮しておく必要があります。
6 自己開示	129.77	130.71	128.79	安心して自分の考えを表明することができる開放的な雰囲気であると考えられます。

学級	1年1組
アンケート実施日	R4.7.4

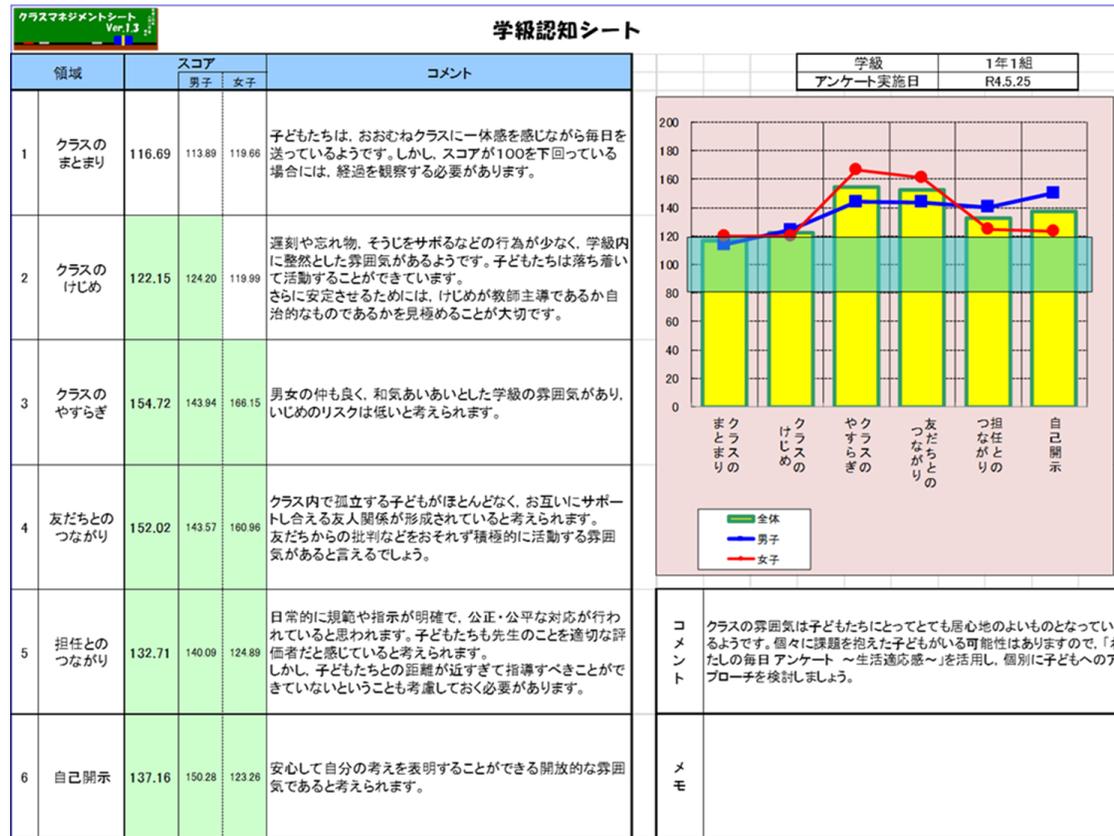


コメント
クラスの雰囲気は子どもたちにとってとても居心地のよいものとなっているようです。個々に課題を抱えた子どもがいる可能性はありますので、「わたしの毎日 アンケート ～生活適応感～」を活用し、個別に子どもへのアプローチを検討しましょう。

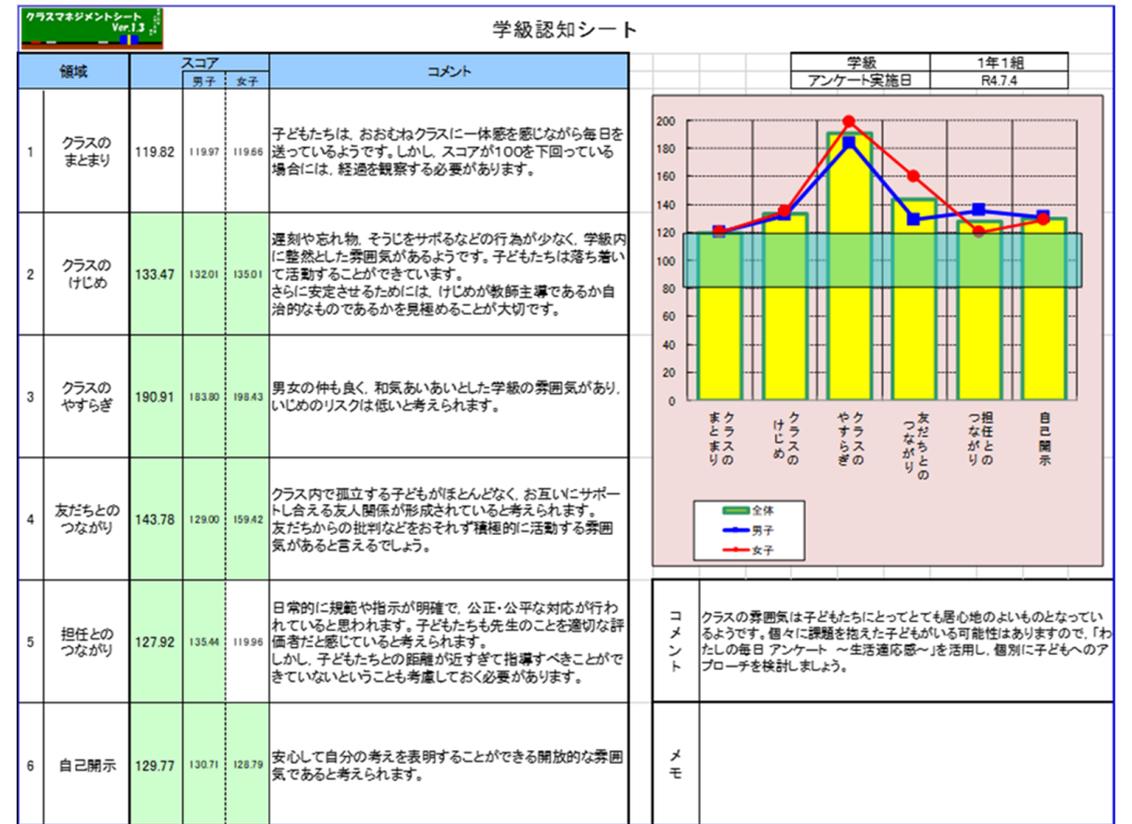
メモ

クラマネの比較

クラマネ 1回目



クラマネ 2回目



クラマネからの分析

- 効果あり
- △ 改善の余地あり
- ☆ 早急に対応する

○毎週の目標設定

一点突破を目指していく上での共通意識をつくれた。授業を中心にけじめを意識したことで、前回よりもけじめのポイントが上がっている。

△女子への関わり

学校への登校が少ない生徒を中心に関わる機会が少なかった。朝の交流など含めて個々に話す時間を作っていく必要がある。心配の声かけはできているが、対話にはなっていない。

☆まとまりにむけて

二学期は行事を活用してまとまりを高めていけるようにする。合唱コンクールはクラスで関わる時間が多いので、まずは全体のイメージを委員とともに作り練習を行い、振り返っていきけるようにする。

○ペア学習やグループ学習

生徒の振り返りからも活動がしっかりできているということで意見が出ていた。今後も生徒をつなげていく活動を進めていく。

○価値観の共有

トラブルを教材にして、道徳の授業や学活を活用して自分と相手を大切にすることを伝えていく。一定のルールをみんなで守っていく意識を今後も高めていく。

△授業などの作法や約束の徹底

教師が意図していない自由や発言の不規則性、授業開始後に荷物を取りに行くなどを細かな部分ではあるが夏休み明けからの再確認をしていく。

○他者への声かけ

前回よりも互いに注意できるようになっている。そのため、クラスのけじめがあがったことが考えられる。そのため、やすらぎも上がっているのかも。

☆個々の心の課題

全体としてのバランスは良くなっているが、個々に課題を抱えているので個別に関わって寄り添う時間が必要になってくる。

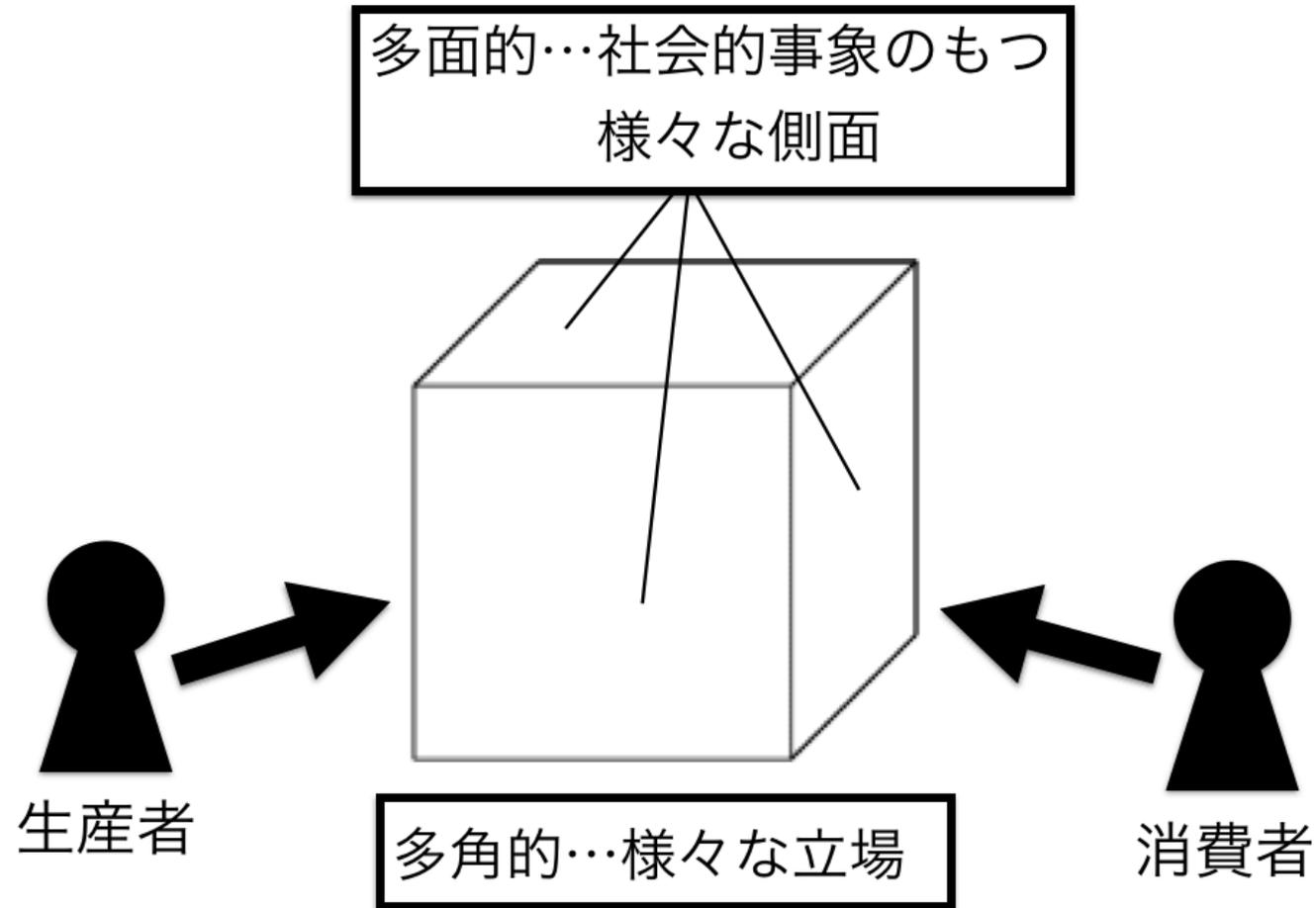
△Iくんの存在

Iくんが欠席していた日数も多いので、前回の反省である全員を巻き込んだ学級づくりにはなっていない。

△肯定的な声かけの継続

日々の疲れもあり、主語が大きくなり「その子」をしっかりと見る目が落ちている。休んで回復することも仕事のうちである。

多面的・多角的にみる



多面的の例
経済、産業、自然環境、人口など

多角的の例
為政者、大人、子ども、生産者、
消費者など

～社会を色々な視点から見る「目」を鍛えるアイテム～

自分の考えはどんな視点を大切にしているのか

何に着目して考えを深めているのか

←

授業の中で視点を大切にしながら、なぜを深めていきましょう。



夏休み中の取り組み

- Iくんを児童相談所とつなぐ＋登校日の設定
- Kくんの様子を家庭訪問で知る
- 合唱コンクールなどの行事に向けた見通し作成
- 自己研鑽 研修への参加と学級の様子などの振り返り

夏休み明けからの取り組み

- 全体のルールや約束の確認
→みんなが気持ちよく過ごしていくために
- 夏休み明けの様子聞き取り
→本人や家庭の変化をつかむ
- 行事に向けた意識づけ
→クラスとして目指す姿の共有とまとまりの向上
- 評議委員、音楽祭委員など係の生徒の活躍とその調整
→委員の子が活躍しやすい環境づくり